



医療法人 静和会

浅井病院

令和4年度 千葉県てんかん支援拠点病院 WEB研修会

「てんかんリハビリテーションを巡って」 その概念と実践のポイントを理解する

令和4年6月11日(土), 千葉県循環器病センター, 市原市

精神的併存症を抱えた方の リハビリテーション

川合 隆世¹, 小林 誠²

浅井病院 ¹地域医療連携部、²リハビリテーション部



医療法人 静和会

浅井病院

千葉県東金市の私立病院

診療科目：精神科、内科、消化器内科、整形外科、脳神経外科、歯科、人間ドック

外来受診者数 約350人/日

入院：全422床

精神科335床（精神科スーパー救急病棟96床） 内科87床（地域包括ケア病棟・療養病棟）

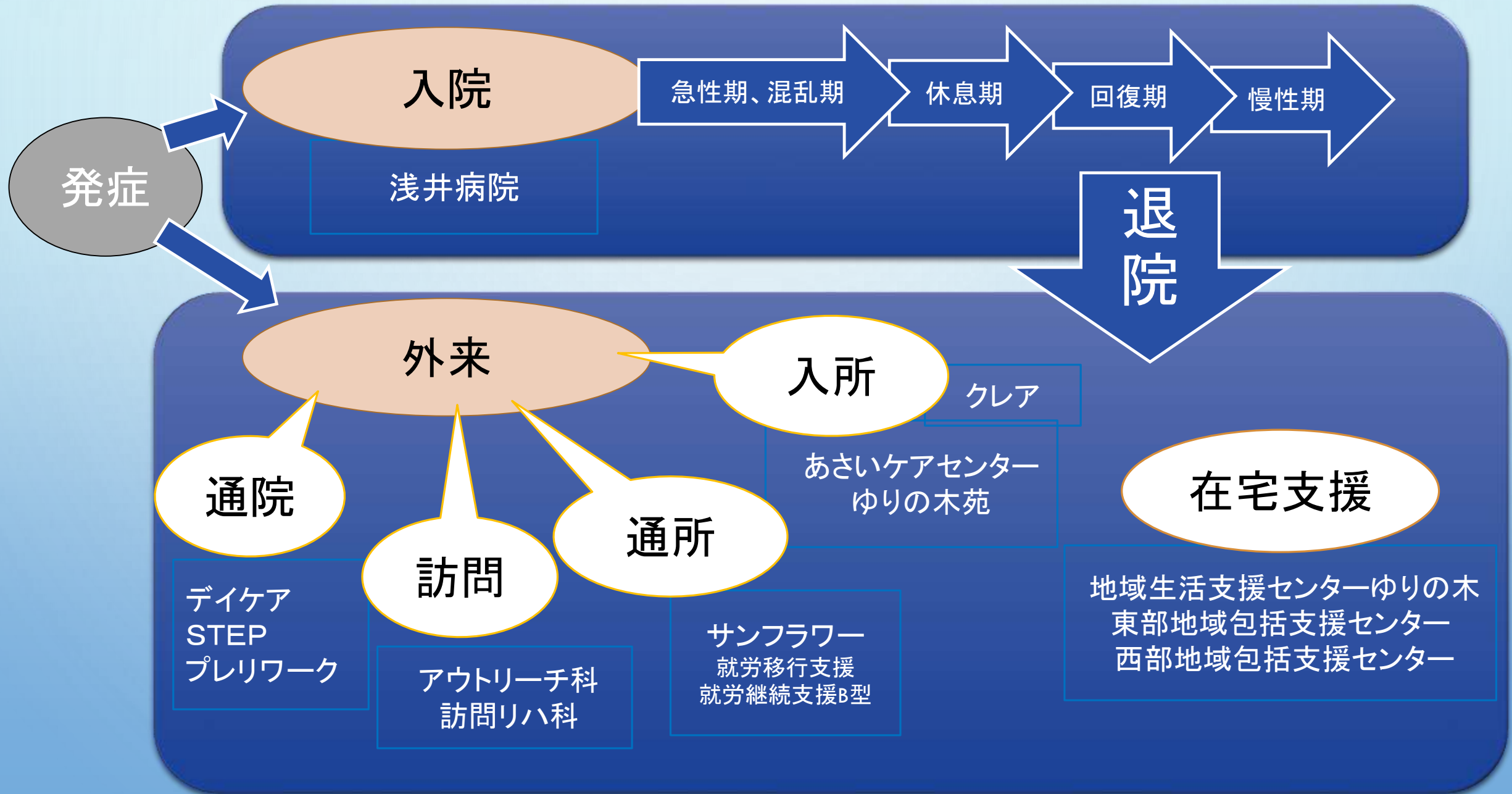
はじめに

- **てんかんには「患者性」「障害者性」の2つの側面がある** (山内ら、日本てんかん協会, 2009)
 - 「患者性」：発作性疾患を有すること
 - 「障害者性」：発作そのもの、さらにいつ発作が起きるかわからないリスクによって日常生活や社会参加が妨げられる
- **てんかんの5.9～48%が精神疾患を合併** (Hesdorffer DC and Krishnamoorthy ES. 2011)
 - 症状以外にも、生活上の機能にさまざまな課題が生じやすい
 - 単独で解決が難しいと、リハビリテーションが必要となる
- **精神的併存症を抱えた方のリハビリテーション**
 - 住み慣れた地域で、その人らしい生活を可能にするために
 - さまざまな視点からアセスメントし、多職種で取り組む必要がある

精神科リハビリテーションとは

- ・『長期にわたり精神障害を抱える人が専門家の最小限の介入で、その機能を回復すること助け、自ら選んだ環境で落ち着き、自分の生活に満足できるようにすることである』 (アンソニー 1993)
- ・「能力欠落」ではなく、「**残存能力**」に焦点を当てる。
- ・精神障害は**疾病と障害が共存**しており、疾病に対する治療と障害に対するリハビリテーションは、**同時に並行的に**進められる。

精神疾患の治療経過とリハビリテーションの場



入院中のリハビリテーション（精神疾患）

急性期

状態

- ・ 目的に沿った行動は難しいが、何もしないと落ち着かない
- ・ 考えがまとまらず、混乱しやすい
- ・ 刺激に対して過敏に反応しやすい
- ・ 自己の内外で起きていることの区別がつきにくい

リハの目的

- ・ 安心・安全の保障
- ・ 症状の軽減
- ・ 衝動の発散
- ・ 休息の保障
- ・ 生活リズムの回復
- ・ 現実への移行の準備
- ・ 鎮静と賦活



散歩

体操

塗り絵

ポイント

- ・ 非言語的な活動
- ・ 受容される体験
- ・ 個別的な関わり、適度な心理的距離
- ・ 活動に伴う現実的な刺激（身体の動き、リズム）
- ・ 直接的な対人接触を回避

入院中のリハビリテーション（精神疾患）

回復期（前期）

状態

- ・ 現実感が少し回復
- ・ 心身の疲れを意識しはじめる
- ・ 激しい陽性症状は落ち着く
- ・ 少しずつ意欲が回復

リハの目的

- ・ 身体感覚の回復
- ・ 生活リズムの回復
- ・ 楽しむ体験
- ・ 休息の保障
- ・ 身辺処理能力の回復
- ・ 自分のペースの理解
- ・ 自己コントロール能力の改善



レク

卓球

模写

ポイント

- ・ 生活に必要な身体機能を取り戻す
- ・ 日中活動して夜は寝る
- ・ 少々のストレスをやり過ごせる練習
- ・ 病気で制限された遊びや楽しみを再開
- ・ 作業によって自分の能力や限界を少し感じる

入院中のリハビリテーション（精神疾患）

回復期（後期）

すでにデイケアや訪問看護に移行しているケースもある

状態

- ・ 現実感や基本的な心身機能が回復
- ・ 地域生活、社会参加に向けた学習や試行が可能
- ・ 自分で生活をコントロールすることができる

以下の回復を目標に

- ・ 生活管理技能
- ・ 役割遂行能力
- ・ 自己能力の現実的把握
- ・ 達成感、自信
- ・ 社会性・対人技能
- ・ 職業準備訓練
- ・ 社会資源利用の支援
- ・ 障害の受容



心理教育

SST

フットサル

自由画

ポイント

- ・ 自己管理（時間、お金、物、薬、自己の健康）
- ・ 社会的スキル（他者との適度なつき合い方）
- ・ 自分の病気や障害と折り合いをつける
- ・ 就労や就学に向けた準備
- ・ 集団の中での好ましい体験、達成感

地域生活でのリハビリテーション（精神疾患）

維持期

デイケア、訪問看護、就労支援、地域生活支援センターなど

状態

- ・ 療養しながら社会復帰、社会参加をめざす
- ・ 心身の機能や生活スキルを維持し、再発防止
- ・ 趣味を広げる、仲間をつくる

リハの目的

- ・ 社会生活リズムの維持
- ・ 仲間づくりや交流
- ・ 生活の自己管理
- ・ 趣味を広げ、楽しむ体験
- ・ 就労に向けた練習
- ・ 適切な危機介入
- ・ 病気とのつき合い方を学ぶ



心理教育・
就労支援

レク・創作

運動療法

ポイント

- ・ より良い時間と体験を提供し、生活の質を上げる
- ・ 生活リズムや生活機能を維持する
- ・ 自分にどのような環境、対応が望ましいか考える
- ・ 不要な(過剰な)ストレスを起こさない
- ・ 関係機関と連携し、生活上の具体的な情報共有

精神科作業療法（OT, Occupational Therapy）

- 作業療法士によって行われる「心と体のリハビリテーション」
- 精神疾患による生活のしづらさに対して、作業活動を通して、よりその人らしい生活を送れるようにしていただく治療プログラム。
- 創作活動や軽作業、スポーツ、音楽、料理、畑作業などの、生活に関連した活動
- 状態に合わせた個人療法・集団療法
- リハビリ目標を設定し、個人プログラムを作成

作業療法の例

軽作業



趣味・創作活動



通院（精神科デイケア）：作業療法・運動療法

担当： 看護師、栄養士、臨床心理士、作業療法士、精神保健福祉士 等

- ・精神科外来通院中の方が対象
- ・個別に週間プログラムを設定
- ・ショートケア(3h)、デイケア(6h)、デイナイトケア(10h)



創作系プログラム

- ・ 手工芸
- ・ 籐工芸
- ・ 切り絵
- ・ 写真など

運動系プログラム

- ・ ソフトボール
- ・ ソフトバレー
- ・ フットサル
- ・ ドッチビーなど

通院（精神科デイケア）：高齢者リハビリテーション

健康寿命の延伸
高齢者の各種能力維持

Soft
Training
Educational
Program for aged

STEP 週間プログラム

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|----|-----------------------------|----|----|------|-----|
| 午前 | R.O. リアリティー オリエンテーション | 学習 | 創作 | 書字描画 | 創作 |
| 午後 | 運動療法 | 陶芸 | 学習 | 運動療法 | 回想法 |

通院（精神科デイケア）：集団精神療法・集団認知行動療法

担当：公認心理師、臨床心理士、精神保健福祉士 等

対人関係スキル、コミュニケーション力の向上
ストレスコーピングおよび対処スキルの獲得
認知の歪みの修正

集中力・持久力・体力の回復や向上などを目指します



就労（復職・求職）をめざして、就労支援事業所や他の医療リワーク施設などへ『繋げる』プログラム

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|----|--------------------|-----------------------|----------------------------|----------------------------|-------------------------|
| AM | ワーキングメモリ トレーニング | SST (社会生活 技能訓練) | ①健康・体力づくり 講座 ②問題解決教室 | 心と体の メンテナンス マインドフルネス | MCT (メタ認知 トレーニング) |
| PM | 対人関係 トレーニング | ①Have Fun ②お茶会 | マイ ナビゲーション ブック | アサーション トレーニング | MCT 汎化ワーク |

訪 問

～ アウトリーチ ～

《医療》

- 精神科訪問診療 → 精神科医/看護師/PSW
- 精神科訪問看護 → 看護師/作業療法士/PSW
- 訪問リハビリ → 理学療法士/作業療法士/言語聴覚士

《障害福祉サービス》

- 居宅介護(ヘルパー)
- 訪問入浴



通 所 ～ 就労支援施設 ～

担当: 作業療法士、精神保健福祉士 等

◆ 就労訓練

- ＜就労移行支援＞ ・生産活動、職場体験等の提供、求職活動支援
- ＜就労継続支援A型＞ ・雇用契約に基づく生産活動、その他の活動の機会の提供
- ＜就労継続支援B型＞ ・雇用契約に基づかない生産活動、その他の機会の提供
- ＜就労定着支援＞ ・職場定着支援 （利用期間は3年以内）

《対象》

- ・ 障害をお持ちで、就労を希望される方
障害福祉サービスのため、身体・知的・精神の三障害が対象。
- ・ 雇用者・社会
 - ・ 利用者の紹介
 - ・ 職場定着支援
 - ・ 合理的配慮等、環境調整
 - ・ 周知啓蒙

「個人と環境の双方へアプローチ」

就労支援施設の例（サンフラワー）

病院業務の担い手という役割・訓練

利用者様のご希望と、特性をアセスメントの上、業務内容をご提案。

病院厨房業務



院内コンビニスタッフ



病棟ベッドメイク



入所 ～ グループホーム ～

◆生活訓練

- ・精神障害者の方々の共同住居
- ・世話人配置
- ・原則、日中活動に参加

◆休息

- ・ショートステイ（自身の休息や、家族の介護休暇目的等での短期入所）



ゆりの木荘(定員12名)



ゆい (定員6名)
さくら (定員6名)



メゾンやまもも
1DKのアパート(定員6名)

在宅支援

～地域で生活している方の相談窓口～

《障害者》 地域生活支援センター

(担当:精神保健福祉士、社会福祉士)

地域生活支援センターゆりの木

- 日常的な相談への対応
- 地域交流活動
- ケアプラン作成 (ヘルパー、ショートステイ、通所サービス等)
- 関係機関との連携・調整 (サービス事業所、病院など)
- 緊急時相談・対応業務 (365日・24時間、単身生活の方等)
- 退院してから地域で生活するための支援 (地域移行支援)

《高齢者》 地域包括支援センター

(担当:保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員)

東金市東部地域包括支援センター・東金市西部地域包括支援センター

- 高齢者の保健・福祉・介護などに関する総合相談窓口

ソーシャルワーク

精神保健福祉士 (PSW/MHSW) の役割

- 生活面、経済問題、社会資源利用などの相談（通院・入院患者さん、ご家族）
- 情報収集と各種援助（受診、入院、退院、社会復帰）
- 多職種で関わるケースでは、院内の他の職種との調整や、他の医療機関、関係機関、サービス事業所等との調整・連携など、**コーディネーターの役割**。
- 退院後の生活支援にあたっては、地域のケアマネージャー（障害・介護）、事業所、市役所、保健所等との**パイプ役**を担っている。

まとめ

- 精神的併存症を抱えた方のリハビリテーションについて、当院を例にお示しました。
- 疾病や生活機能障害に対して作業療法、運動療法、集団認知行動療法などが用いられます
- さらに、社会復帰、就労や地域生活の訓練、支援が行われます
- 入院、通院、訪問、通所、入所、在宅支援と、多くの場で、多職種が関わります
- 精神保健福祉士がコーディネーター、パイプ役を担っています

ご清聴ありがとうございました



はんてんぼーくん

